

ホームページへの掲載	

岐阜県立岐阜工業高等学校

学校長 長屋 千秋

学校住所 岐阜県羽島郡笠松町常盤町1700 電話058-387-4141

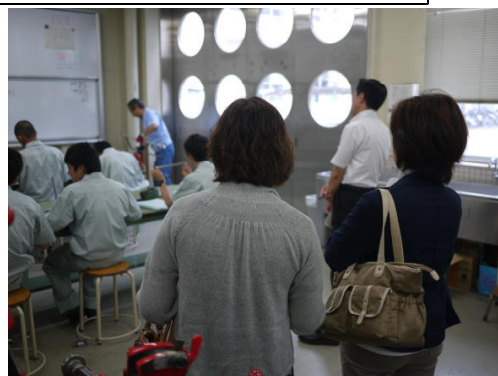
- 1 会議の名称 学校評議員の会議（第1回）
- 2 会議の構成
- | | | |
|----|-------|-----------------|
| 委員 | 木村 眞弓 | 地域住民代表 |
| | 小島 健児 | 育友会会長 |
| | 杉山 広子 | 地域住民代表 |
| | 平松 志年 | 株式会社ギフ加藤製作所 取締役 |
| | 藤吉 浩一 | 名古屋鉄道株式会社 笠松駅長 |
- （委員名は五十音順）
- | | | | | |
|-----|-------|------|-------|--------|
| 学校側 | 長屋 千秋 | 校長 | 森 保 | 教務主任 |
| | 若松 卓郎 | 副校長 | 宮浦 英夫 | 生徒指導主事 |
| | 川合 宏海 | 事務部長 | 本田 悟志 | 進路指導主事 |
| | 下川 治 | 教頭 | 加藤 嘉彦 | 工業教育部長 |
| | 藤田 正昭 | 教頭 | | |
- 3 会議の目的 学校運営等について、学校外の有識者等から幅広く意見を聞き、本校教育の改善・充実に資するとともに、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを目指す。
- 4 会議の開催 平成25年7月2日（火） 13:15～15:30 岐阜工業高等学校 校長室
評議員5人と学校側9人が出席

5 会議の概要

主テーマ 工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと

授業の見学

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 化学技術科： | 3年課題研究
紙の研究 |
| 電子機械科： | 1年実習
旋盤：金属切削加工 |
| 設備システム科： | 1年実習
管工事：管工事入門
塩ビ管の加工 |



学校の教育現状について 報告

学校長より 生徒1078名で、職員も130名おり大規模校であり、責任の重さを感じている。学校評議員の制度は、意見を聞かせていただいて、生徒の学習環境をより良く整備していくことが目的である。良くなる点を是非とも示唆していただきたい。いろいろな意見をお願いしたい。

○学習指導要領に従って、工業高校のクレドとして

工業高校の各分野に関する基礎基本を習得した生徒を育てる。工業の意義や役割を理解し、環境やエネルギーに配慮した行動を取ることができる生徒を育てる。工業技術の諸問題を合理的に解決し、創造的な実践的な態度を持つ生徒を育てる。ということを考えている。

○生徒自身が目指す姿としては

人間性豊かな工業技術者、将来のスペシャリスト、地域産業の担い手をそれぞれ目指すように指導する。

○校長としてのクレド

生徒が笑顔で毎日登校でき、安心安全に活動できる、夢の実現や目標の達成ができる、地域から認められ支援される、地域と連携し活力ある 学校づくりをする。生徒の良さや可能性を見つけて伸ばし、生き抜く力を身に付けさせる。

職員が働きがい、健全な心身を持って勤務できる学校づくりをする。

○二年後には90周年を迎える工業教育の旗頭の学校である。ものづくり、資格取得、部活動の日本一を目指すことを継承する。さらに、生徒たちが入学して良かった、学んでいて良かった、卒業して良かった、何年か経って、OBでよかったと思える満足度日本一の工業高校をめざす。

評議員より質問

ものづくり日本一や資格取得日本一に具体的な目標があるのか？

校長

ものづくりにはコンテストがあり、化学分析部門では全国準優勝しているし、社会人がやっている技能五輪にも出場している。資格取得に関しては全国工業校長会で資格に点数を付け、35点以上とるとジュニアマイスターという称号が与えられ、その人数で全国何位かがわかる。最高11位になったことがある。また、2年前には一人で321点を取り、文字通り日本一となり、経済産業大臣から表彰された。

各分掌より説明

教務部	入試の状況、教育課程の改善点について
生徒指導部	挨拶指導、安全指導について
進路指導部	進路状況について
工業教育部	ものづくり・資格取得状況について
定時制	副校長より 定時制教育活動全般について



工業高校に期待するもの、地域から学ぶべきこと

意見1 授業を見学させてもらって、生徒は意欲的にやっており、先生は要点を押さえて指導していた。小さなグループで実習を行っているのはよいことだ。

意見2 教室に扇風機を付けて、熱中症の対策をして欲しい。

意見3 化学技術科の研究で、できあがったものを見せてもらったが、その過程を知りたかった。特に失敗例や苦労したと事が大事なのでそこを聞きたかった。説明してくれた生徒は大変すばらしかった。自分でやったことなので、質問にも即答でき、堂々と話げできたのであろう。

意見4 電子機械科では実習中、安全メガネをかけると言っていたが、かけていない生徒が何人かいた。徹底することが大切だ。学校では6SにさらにふたつのSの躰と士気が大事だ。片付けもいい加減になっていた。びしびししかって厳しくやって欲しい。

意見5 体力を付けて欲しい。クーラーを付けることには反対だ。クーラーがなくても負けない体力と心身にして欲しい。

意見6 先輩と後輩の関係ができればいい。昔は先生が挨拶を教えるのではなく、先輩が教えていたものだ。

意見7 1年生で基礎をみっちり教えて、レベルアップして、3年生がものづくりを行っているのは良い。ミスをして、それを乗り越えてということを積み重ねていくことが大事だ、先生がリードしすぎないようにして欲しい。

意見8 挨拶が一番大事である。

意見9 身分証明書（IDカード）を常に携帯して欲しい。発行も早くして欲しい。

意見10 何十年も笠松に住んでいるが、10年くらい前までは朝9時でもたらたらと登校する姿を見たが、今は8時ころに一所懸命登校する姿を見るだけで、それよりも遅い時間に登校する生徒を見かけなくなった。服装も整っている。

意見11 本校卒業の息子が大学に行っているが、英語がついていけないと言っている。高校でもっと英語教育をやって欲しい。

意見12 本校卒業の娘がある会社で働いている。化学を学んで、白衣を着てそれを生かせる仕事をしていて大変ありがたい。

意見13 ものづくりで地域に貢献しているのをいくつか見せていただいている。PRにもっと利用して欲しい。

6 会議のまとめ

第1回学校評議員の会では、始めに課題研究および実習風景を見ていただき、その後、本校の教育活動の概要を説明し、感想および提言をいただいた。

ここ数年の校外での生徒の様子や地域貢献活動での作品を見て、学校がより良くなってきていることを高く評価していただけた。

各委員からは、地域から信頼される工業人を育成するための意見、提言が出された。